

令和2年度 事業計画

社会福祉法人
西予総合福祉会

令和2年度 事業計画（案）

社会福祉法人 西予総合福祉会

I. 基本理念・信念【コア・バリュー】

老人に生きがいを

障がい者には希望を

子どもには大きな夢を

多様化していく社会の要請に応じ、総合的多角的な福祉サービスを展開し、心豊かな地域社会づくりを推進する。

II. 使命・目的【ミッション】

1. 地域で「その人らしく」生活できるように総合的な福祉サービスを提供する。
2. 地域の福祉人財を創出・育成する。
3. やさしさと温かさあふれる地域づくりに貢献する。

III. 目標・夢・希望【ビジョン】

1. 利用者満足のために
 - ・地域で信頼され続ける組織
 - ・福祉サービスをワンストップで提供できる組織
 - ・地域ニーズやライフステージの変化に応えられる組織
 - ・安心して暮らせる地域づくり
2. 職員満足のために
 - ・安心して働き続けられる職場環境
 - ・働く誇りが持てる組織
 - ・能力・技術を向上し、成長できる組織
 - ・一人一人が活躍できる組織

- ・風通しがよい組織
- ・公平で納得度の高い人事考課

3. 経営満足のために

- ・健全経営（事業として赤字を出さない）
- ・時代の変化を見極めながら、成長し続ける組織
- ・一人一人が基本理念を理解し実践している職場
- ・よい人材が集まる組織
- ・人が育つ職場環境と仕組み

IV. 重点目標

1. 地域オンリーワン

(1) 基本理念・MDCVSの法人内への浸透化

- ・利用者の人権を尊重し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSを理解し施設運営に反映させる。

(2) 地域におけるブランドイメージの向上

- ・ボランティアの受入れや介護教室の開催を通して、地域住民の福祉に対する理解を促進し、福祉の仕事の啓発を行う。
- ・災害時の事業継続計画（BCP）及び防災・危機管理対応マニュアルの定期的な見直しを行い実効性のあるものにする。
- ・ホームページや広報等を活用し積極的な情報発信を行い「見える化」「見せる化」に努める。

2. 利用者と家族の幸せ

(1) ワンストップで提供できる福祉サービスの構築

- ・地域における福祉の総合相談窓口として、多様な相談に応じ、また適切な機関につなぐ機能を整備する。

- ・地域における公益的な取組として、低所得者等に配慮した法人後見事業が実施できる体制を整える。
- (2) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足度の更なる向上
- ・利用者やその家族等の声がサービスの改善に活かせる仕組みや満足度を把握するための仕組みを整える。
 - ・地域共生社会の実現に向けて、地域で法人が果たすことのできる機能（役割）を模索し実践できる体制を整える。
3. サービスの質の向上と標準化
- (1) サービスの「質」及び「標準化」の充実
- ・専門知識の習得、技術の向上のために、体系的な研修プログラムを策定し運用していく。
 - ・サービス提供についての手順書（マニュアル）の定期的な見直しを行いサービスの標準化を図る。
4. 職員の充実
- (1) 福祉人財の確保・育成
- ・法人をとりまく内部環境や外部環境を把握し、将来を見据えた採用計画を策定する。
 - ・高齢者、障がい者、外国人などの多様な人材が活躍できるような労働環境を整える。
 - ・福祉の仕事への関心を深めるため、小中高校での福祉体験学習や施設見学の受入れなど福祉教育に積極的に取り組む。
- (2) 働きやすい職場環境の整備による定着化の推進
- ・雇用時間や賃金形態を工夫し、多様な働き方ができる仕組みを整える。

- ・職員相互の融和親睦を図るため職員交流事業やサークル活動の充実に努める。
- ・公平・公正な人事制度、評価制度として定期的な見直しを行い制度の定着化を図る。

5. 財務の健全化

(1) 事業所単位での経営の安定化

- ・事務管理部門を事務局に集約したことの検証を行い、期待通りの効果が得られるよう調整を行う。
- ・ペーパーレスの取り組みを推進すると共にロボットやICTを活用した業務の効率化に努める。

(2) 事業資金計画の立案

- ・各施設をとりまく環境を把握し、将来を見据えた施設整備、設備整備計画を改めて策定する。
- ・財務指標にもとづく経営分析等により、法人全体および各施設の経営状況を適切に把握する。

V. 数値目標

- (1) 定年退職者を除く正職員の離職率を5%以下とする。
- (2) 労災保険対象事故の発生件数を前年度対比30%削減させる。
- (3) 事業活動資金収支差額を前年度対比3%増加させる。
- (4) 一人当たりの時間外労働を月平均5時間30分以下とする。
- (5) S2昇格試験受験要件指定資格の資格取得者を15人以上とする。
- (6) ストレスチェック組織分析結果の健康リスクを95以下とする。
- (7) ホームページ閲覧数を前年度対比20%増加させる。
- (8) 障がい者雇用率について法定雇用率(2.2%)を達成する。

VI. 会議の開催予定

- | | |
|-----------------|--------------------|
| (1) 理事会 | (3ヶ月に1回以上) |
| (2) 法人幹部会 | (毎月及び必要がある場合はその都度) |
| (3) 施設長会 | (毎月及び必要がある場合はその都度) |
| (4) 評議員会 | (6月及び必要がある場合はその都度) |
| (5) 運営協議会 | (6月及び必要がある場合はその都度) |
| (6) 監事監査会 | (必要がある場合はその都度) |
| (7) 会計監査人監査会 | (必要がある場合はその都度) |
| (8) 評議員選任・解任委員会 | (必要がある場合はその都度) |

【各事業部及び施設別事業計画は別紙のとおり】

令和2年度 老人事業部重点目標

1. 地域オンリーワン

- (1) 基本理念・MDCVSの事業部内への浸透化
 - ・高齢者の人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
- (2) 地域におけるブランドイメージの向上
 - ・ボランティアの受け入れや介護教室の開催を通して、地域住民に介護事業の更なる理解、促進につなげる。
 - ・災害時の事業継続計画（BCP）や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、災害時の拠点づくりを目指す。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) ワンストップで提供できる福祉サービスの構築
 - ・高齢者や認知症の方への支援やアドバイスなど相談しやすい場所としてネットワークを構築し、様々なニーズに対応する。
- (2) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足度の更なる向上
 - ・地域共生社会の実現に向けて、地域で果たすことのできる機能（役割）を模索し実践できる体制を整える。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) サービスの「質」及び「標準化」の充実
 - ・利用者への接遇、職員の専門知識の習得、介護技術の向上のために、OJT委員会を中心に研修計画を策定し実践する。

4. 職員の充実

- (1) 福祉人材の確保・育成
 - ・高齢者、障がい者、外国人などの多様な人材が活躍できるよう労働環境を整える。その中でも本格的に受入を開始した外国人が働きやすい環境を整える。
 - ・介護教室や業界団体の活動により、高齢者施設で働くことの魅力をより多くの人に知っていただき、人材確保・育成につなげる。
- (2) 働きやすい職場環境の整備による定着化の推進
 - ・人事制度の定着により、働きがいの向上を図る。また職員が働きやすい環境づくりのため、時間外労働の削減、メンタルヘルス対策を行う。
 - ・引き続き、職員の有給休暇を5日以上取得する。

5. 財務の健全化

- (1) 事業所単位での経営の安定化
 - ・介護保険制度や各事業に関連する加算等を熟知し、必要な体制を整え利用者満足につなげることで、経営の安定化を図る。また、適正な人員配置やコスト削減に努める。
 - ・食事の提供について、委託業者での現場調理方式が岐路に立たされており、経営の安定と利用者満足を両立できる方式を研究していく。
- (2) 事業資金計画の立案
 - ・将来を見据えた施設整備、設備整備計画、事業のあり方等を研究する。また、経営分析を行い、経営状況を把握する。

令和2年度 養護・障がい事業部重点目標

1. 地域オンリーワン
 - (1) 基本理念・MDCVSの事業部内への浸透化
 - ・子どもや障がいのある方の人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
 - (2) 地域におけるブランドイメージの向上
 - ・ボランティアや実習生等を積極的に受け入れ、社会的養護の必要な子ども達や障がいのある方々への理解、促進につなげる。
 - ・災害時の事業継続計画（BCP）や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行う。
 - ・ホームページや広報紙等を利用して情報発信及び情報公開を行い、地域の中の施設として広く知ってもらおう。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) ワンストップで提供できる福祉サービスの構築
 - ・子育てで支援や障がいのある方々の支援へのアドバイスなど相談しやすい場所としてネットワークを構築し、様々なニーズに対応する。
 - (2) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足度の更なる向上
 - ・地域共生社会の実現に向けて、地域で果たすことのできる機能（役割）を模索し実践できる体制を整える。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) サービスの「質」及び「標準化」の充実
 - ・専門知識の習得、技術の向上のために、OJT委員を中心に研修計画を策定し実践する。
4. 職員の充実
 - (1) 福祉人財の確保・育成
 - ・養護施設や障がい施設で働くことの魅力をより多くの人に知っていただく活動を行い、人材確保・育成につなげる。
 - (2) 働きやすい職場環境の整備による定着化の推進
 - ・人事制度の定着を図りモチベーションアップのための働きかけを行うとともに、働きやすい環境づくりのため、時間外労働の削減や有給休暇取得率の向上、メンタルヘルス対策を行う。
5. 財務の健全化
 - (1) 事業所単位での経営の安定化
 - ・制度や法律を熟知し必要な体制を整え利用者満足につなげることで、経営の安定化を図る。また、適正な人員配置やコスト削減に努める。
 - (2) 事業資金計画の立案
 - ・将来を見据えた施設整備、設備整備計画を策定する。また、経営分析を行い、経営状況を把握する。

令和2年度 児童事業部重点目標

1. 地域オンリーワン

(1) 基本理念・MDCVSの事業所内への浸透化

- ・子どもたちの人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。

(2) 地域におけるブランドイメージの向上

- ・法人の基本理念・各園の保育理念のもと、園児や保護者との信頼関係を築き安心・安全な環境の確立と地域の福祉サービスの拠点となるように努める。
- ・災害時に備え、継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、地域とつながり支え合うネットワーク作りに努める。
- ・ホームページ等を利用し、情報発信を積極的におこない、保護者、地域の方の園への理解度を高めていく。

2. 利用者と家族の幸せ

(1) ワンストップで提供できる福祉サービスの構築

- ・地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を取りながら地域に密着したサービスの提供ができるようにする。

(2) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足度の更なる向上

- ・保護者からのアンケートを活かし、保育サービスの維持・向上・及び安心・安全な保育環境を提供する。
- ・「安全を考える日」の浸透とリスクマネジメントを継続する。

3. サービスの質の向上と標準化

(1) サービスの「質」及び「標準化」の充実

- ・定期的なマニュアルの見直しをおこない、サービスの標準化を図る。
- ・専門研修会や、全国規模の研修会の参加を推進し、個別のスキルアップを図り、全体的な底上げへとつなげる。また、OJT委員を中心とした研修計画を策定し実践する。

4. 職員の充実

(1) 福祉人材の確保・育成

- ・時間外労働の削減と、有給休暇の取得率の向上ができる体制を構築し魅力ある職場環境をつくり、人材確保につなげる。また、OJT委員を中心に現場での職員の育成に努める。

(2) 働きやすい職場環境の整備による定着化の推進

- ・相談しやすい、風通しの良い職場環境づくりに努め、職員一人一人のメンタルヘルス対策に努める。

5. 財務の健全性

(1) 事業所単位での経営の安定化

- ・地域の出生状況や保護者・地域のニーズを把握し、事業内容等に反映すると共に、安定した経営に努める。

(2) 事業資金計画の立案

- ・将来を見据えた施設整備や設備整備計画を策定し、適切な園の環境を維持していくよう努める

施設名 : 宇和町特別養護老人ホーム松葉寮
ケアハウスれんげ

【施設理念】

- ・誰もが利用したくなる施設づくり

【経営方針】

- ・施設理念に基づき、常に相手の立場に立ち、利用者お一人お一人を大切にします。
- ・松葉寮での仕事に誇りと愛情が持てる職員を育成し、職員同士が認めあえる関係を醸成します。
- ・各事業所の利用率・利用者数向上に努め、安定した経営に努めます。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - (1) 利用者の人権尊重を第一とし、全職員に基本理念やMDCVSを浸透いたします。
 - (2) 災害時の事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、福祉避難所の受け入れを含め、災害時の拠点づくりを目指します。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 入所申し込みなどで施設に来られた方に対し、高齢者や認知症の方への支援やアドバイスを行い、相談しやすい場所として様々なニーズに対応します。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 松葉寮職員としての自覚を持ち、向上心を高めて利用者への接遇や介護技術・知識の習得に努めます。施設長を推進役とし、OJTを実践します。
 - (2) 「ノーリフトケア」についての理念を全職員に浸透し、引き続き取り組んで参ります。
4. 職員の充実
 - (1) フィリピン人EPA候補生のやりがいの向上に努めると共に高齢者や障がい者など、多様な人材が活躍できる労働環境を整えます。
 - (2) 職員が働きやすい環境づくりのため、ICTの更なる導入など業務の見直しを図ります。
 - (3) 引き続き、職員の有給休暇を5日以上取得いたします。
5. 財務の健全性
 - (1) 介護保険制度や各事業に関連する加算等を熟知し、必要な体制を整え利用者満足につなげることで、経営の安定化を図ります。
 - (2) 職員の適正配置の確認や支出の削減により、健全な経営を目指します。
 - (3) 利用者への食事について、様々な提供形態の情報収集を行い、今後のあり方について検討を行います。

【数値指数】

	松葉寮			かえで	ケアハウスれんげ	
	地域密着	広域	短期入所	認知症通所	特定	一般
利用者定員	19名	56名	20名	12名	21名	9名
1日平均	18名	53名	17名	5名	20名	8名
稼働率	94.7%	96%	85%	41%	95%	98%
総収入(千円)	99,935	239,556	69,499	14,916	50,182	16,768
職員数	正職員	10名	34名	8名	2名	6名
	パート	1名	15名	2名	1名	7名

施設名：地域密着型特別養護老人ホーム開明の杜

【施設理念】

私たちスタッフは、

1. ご利用者様に誠意をもって対応できる施設・事業所
 2. ご家族様に信頼される施設・事業所
 3. 仲間を大切にできる施設・事業所
 4. 地域に信用される施設・事業所
 5. 常に進化し続ける施設・事業所
- をモットーにして、優良であり続ける施設・事業所になるように努めます。

【経営方針】（各共通）

1. ご利用者様の尊厳を守ることを基本として、その権利や人権を擁護することを大切にし、介護が必要になった場合でも、これまでの暮らしの継続ができるように配慮し誠意を持った対応を心がけることで安心して生活できるように努めます。
2. ご利用者様から任せて安心と言っていただけるように、ご利用者様の心身の状況その置かれている生活環境等を配慮し、ご家族様の要望に耳を傾け誠意ある対応に心がけるとともに、関係機関で連携を図り、総合的かつ効果的にサービス提供に努めます。
3. 職員同士が互いを敬い、尊重することを大切に考え、イレギュラーな出来事に対しても助け合いの精神を忘れず、職員が職場に満足できる環境をつくります。
4. 社会福祉法人の使命、役割は、社会や地域への貢献である。地域の声に耳を傾け、必要とされるニーズを把握することで、関係機関との連携を図り高齢者が地域で尊厳を持った暮らしが継続できるように地域に寄り添った相談及び援助に心がけるとともに、積極的な交流を図ることで地域の拠り所となる施設・事業所をつくります。
5. 変化していく社会情勢や家庭環境、またビジネス環境に着目し、長期に渡り選ばれる組織となるためには「誰に」「どのような価値を」「どのように提供するのか」をリサーチすることで、これまで培った専門的なノウハウを最大限に生かし、進化し続ける施設、事業所を目指します。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - ・地域に暮らす人々の尊厳を守り、そのための人材を育成し、「やさしさ」と、「温かさ」あふれる地域づくりに努めます。
 - ・福祉のスペシャリストであるという誇りを強みに、地域に信頼される施設、事業所を目指します。
 - ・地域との交流を図り、介護教室、介護相談等の開催を通じて必要とされる施設、事業所を目指します。
2. 利用者と家族の幸せ
 - ・介護が必要となった高齢者が可能な限り、尊厳ある生活が維持できるように誠意を持った対応や相談に応じるように努めます。
 - ・ご利用者様、ご家族様が抱える悩みに耳を傾け、その解決のために関係機関との連携を図り最善の対応に努めます。
3. サービスの質の向上と標準化
 - ・パーソナル・サービスを提供するために、職員の専門知識の向上と習得、OJT 研修の充実に努めます。
 - ・「持ち上げない、抱え上げない、引きずらない」介護であるノーリフティングケアのスタンダード化に取り組み、安心安全な質の高いサービスに努めます。
4. 職員の充実
 - ・働きやすい職場環境づくりのために、イレギュラーな出来事に対しても、相談できる体制を構築します。
 - ・上司、部下とのコミュニケーションの充実に努め、互いの良好な関係性を構築します。
 - ・有給休暇年5日が取得しやすい職場環境に努めます。
5. 財務の健全性
 - ・無駄な経費削減に努める。
 - ・利用率の更なる向上等により財務の安定を図ります。

【数値指数】（表にして例年通りの記載方法でお願いします）

	開明の杜	短期入所	訪問介護	居宅介護支援	
利用定員	29名	10名	要介護15名/月	180名(介護) 48名(予防)	
1日の平均利用者数	28名	8名	総合20名/月 障がい4名/月	170名/月(介護) 40名/月(予防)	
稼働率	96%	88%	—	—	
総収入(千円)	148,862	43,094	13,225	35,962	
職員数	正職員	20名	4名	3名	6名
	パート	10名	1名	1名	0名

施設名 皆楽園

【施設理念】

【皆楽園に住んでよかった、皆楽園を利用したいと言える施設づくり】

【経営方針】

- ①利用者様のこれまで生きてこられた環境を基本にしつつ、お一人お一人にあった希望を大切に、常に相手の立場にたったサービスを提供します。
- ②家族や地域とのふれあいを密に生きがいの感じられる《普通の暮らし》を目指します。
- ③法人職員・皆楽園職員としての自覚を持ち、常に向上心をもって技能・知識の習得に努めます。
- ④利用者様の人権を尊重し、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう支援します。
- ⑤稼働率の上昇やコスト削減に努めることで経営の効率化を図り、健全経営を維持推進します。

【事業計画】

※重点目標

皆楽園(短期入所を含む)

- ①地域オンリーワン
 - ・福祉避難所として役割を果たす為の訓練、研修
 - ・各種の災害に対応出来る定期的な避難訓練実施
 - ・危機管理対応マニュアルの定期的な見直し
- ②利用者と家族の幸せ
 - ・質を高める為の研修会への参加及び家族への情報提供
 - ・看取りも含め、様々なニーズに対応できる専門的知識の獲得
- ③サービスの質の向上と標準化
 - ・地域に必要なニーズを洗いだし、施設としての役割や社福の責務を果たす活動推進
 - ・技術継承者の育成
 - ・言葉を変え、考えを変え、行動を変えることでプロの接遇を実践
- ④職員の充実
 - ・資格取得者支援
 - ・職員のメンタルヘルス対策
 - ・介護教室等の活動を通じて、高齢者施設への理解を深め、ボランティアや働く人材確保に努める
 - ・業務の効率化を計り、時間外労働の削減を行う
 - ・外国人技能実習生の雇用定着化
- ⑤財務の健全化
 - ・稼働率のアップ 1)入居者様の体調管理 2)利用しやすい施設 3)待機者の把握
 - ・経営状態の把握を行い、無駄な経費削減に努める

デイサービスセンター皆楽園

- ①地域オンリーワン
 - ・福祉避難所として役割を果たす為の訓練、研修
 - ・各種の災害に対応出来る定期的な避難訓練実施
 - ・危機管理対応マニュアルの定期的な見直し
- ②利用者と家族の幸せ
 - ・質を高める為の研修会への参加及び家族への情報提供
 - ・自宅での自立した生活が維持出来るよう支援し、家族の負担軽減を計る
- ③サービスの質の向上と標準化
 - ・地域に必要なニーズを洗いだし、施設としての役割や社福の責務を果たす活動推進
 - ・技術継承者の育成
 - ・言葉を変え、考えを変え、行動を変えることでプロの接遇を実践
- ④職員の充実
 - ・資格取得者支援
 - ・職員のメンタルヘルス対策
 - ・業務の効率化を計り、時間外労働の削減を行う
- ⑤財務の健全化
 - ・利用しやすい施設、ニーズに応える施設を目指し、稼働率アップに繋げる
 - ・経営状態の把握を行い、無駄な経費削減に努める

【数値指標】

	デイサービス	皆楽園		配食サービス	
		老人ホーム	短期入所		
利用者定員	18名	50名	10名	20食/日	
1日平均利用者数	14.5名	49名	7.4名	11名	
稼働率	81%	98%	74%	55%	
総収入(千円)	41,970	259,910	35,540	1,278	
職員数	正職員	5名	33名	5名	1名(兼務)
	パート	3名	5名	2名	1名(シルバー)

施設名 : 特別養護老人ホームあけはま荘
ケアハウスはまゆう

【施設理念】

- ・ご利用者に安心で尊厳のある生活の場を提供し、皆様から愛され、信頼される施設を目指します。

【経営方針】

- ・利用者お一人お一人のニーズに対応できる質の高いサービスを提供いたします。
- ・職員が働きやすい職場を醸成し、働きがいの向上を目指します。
- ・社会福祉法人として地域における公益的取り組みを実践します。

【事業計画】

1、地域オンリーワン

- ・専門知識を活かした活動（介護の勉強会・教室等）を外部で開催します。
- ・利用者の安全を守る取り組みを実施します（防災・BCP計画の見直し・訓練）

2、利用者家族の幸せ

- ・最後まで豊かな人生を支援できるよう看取り介護の更なる充実を行います。
- ・地域ニーズの掘り起しを行います。
- ・地域にある、困難事例等に積極的な関わりが持てるよう関係機関との連携を図ります。

3、サービスの質の向上と標準化

- ・利用者、職員の負担軽減となるよう、ノーリフトケアに向け職員の研修を行います。
- ・グループ統合後の検証を行い、オペレーションの見直し、質の向上に努めます。
- ・IT・AI機器の、最新の情報収集を行い活用について検討を行います。

4、職員の充実

- ・働きやすい職場環境となるよう、勤務時間、勤務形態等、柔軟に対応して行きます。
- ・ミャンマーからの技能実習生が、定着できるよう支援を行います。
- ・高齢者及び障がい者の雇用の継続を行います。

5、財務の健全性

- ・健康管理に努め、入院を減らし稼働率の安定を図ります。また、空床利用について、利用者ニーズに合わせて、短期入所の受け入れを積極的に行います。
- ・地元ニーズ人口等を踏まえ、施設規模、建替えについて方向が示せるよう調査研究を行います。
- ・食事提供について、情報収集を行い、委託、調理済み食材等、今後について検討を行います。

【数値指数】

	特養	短期	明浜デイ	ケアハウスはまゆう	
			通所介護	一般	特定
利用者定員	85名	5名	18名	30名	
1日平均利用者数	83名	4.3名	14名	11名	19名
稼働率	98%	86%	78%	98%	
総収入（千円）	365,240	20,330	42,606	17,938	50,817
職員数	正職員	48名	3名	7名	6名
	パート	16名		3名	6名

施設名 : 宇和デイサービスグループ

【施設理念】

- ・在宅生活を継続する住民（利用者・家族）の心強いサポーターであらう！

【経営方針】

福祉の里・ななほし中川・うつのみやさんの家・あんしんの家・リハビリ専門デイサービス歩

- ・法人が推進する「ワンストップ構想」の早期実現のため担当との連携力を深め積極的な情報発信に努めます。
- ・在宅生活継続支援施設として安心を提供し地域で最も「求められる施設」を目指します。
- ・利他の考えで日々の運営に努めます。
- ・利用者及び家族の尊厳を堅守します。
- ・リハビリを希望される利用者やご家族の要望に寄り添う援助を行います。
- ・認知症への理解を内外共に発信していきます。
- ・離職者「0」を目指します。
- ・満面の笑顔での支援を目指します。

【事業計画】

1. 宇和デイグループ合同職員会の充実を図ります。グループ事業所相互の連携力でグループに新規利用相談は100%受入を目指します。
2. 研修会や勉強会を実施することで、職員のスキルアップを行います。また、居宅介護支援事業所との連携会議を開催します。
3. 内部研修の充実を図り介護力・人間力を向上させます。
4. 各事業所管理者で構成する運営委員会を毎月し情報共有に努め応援体制の早期確立を目指し、働きやすい環境整備に努めます。
5. 運営委員会及び合同職員会において基本的な財務諸表の見方等勉強し経営感覚を身につけます。

【数値指数】

		福祉の里デイサービス	福祉の里 配食 (1,140円/1食)	あんしんの家		ななほし中川	
				通所	短期	通所	短期
利用定員		45名	年間620食	14名	4名	14名	5名
1日平均利用者数		29.2名	2.0食	9.6名	2.6名	10名	3名
稼働率		73.0%	-	68%	65%	71%	60%
総収入(千円)		95,725	700	50,560		53,790	
職員数	正	13名	-	7名		8名	
	パート	5名	1名	3名		2名	
		うつのみやさんの家	リハビリ専門 デイサービス歩	リハビリ訪問看護 ステーション歩			
利用定員		9名	AM25名・PM25名				
1日平均利用者数		9名	47名 (1単位23.5)	11名			
稼働率		100%	94%	—			
総収入(千円)		37,470	47,200	19,795			
職員数	正	6名	8名	4名			
	パート	2名	1名				

施設名 : 三楽園

【施設理念】

- ・心安らぐ生活の場を提供し、ご家族及び地域より信頼される施設を目指します。

【経営方針】

- ・入所者の人権・尊厳を重んじ、生きがいを大切にして自分らしい生活が送れるよう支援します。
- ・入所者お一人お一人が安心して生活できる環境を整えます。
- ・様々な形での社会交流・参加を積極的に行い、地域に開かれた施設を目指します。
- ・福祉職としての誇りと向上心を持ち、自己研鑽に努めます。
- ・職員のモチベーション向上に繋がるよう、労働環境の整備に努めます。
- ・健全経営に向け、稼働率の維持ならびに経営努力を行います。

【事業計画】

1、地域オンリーワン

施設が持っている資源を活用して介護予防教室を地域での行事として定着させます。(5年目)

2、利用者と家族の幸せ

地域の中でのセーフティーネット機能の強化を図ります。

本人の想いを大切にした支援に努めます。

3、サービスの質の向上と標準化

外部研修(出張等)の参加と共に園内研修にも力を注ぎ年間計画を立て実施します。

4、職員の充実

有休休暇を5日以上取得し、意識改革を進め時間外労働の削減に努め、離職者の軽減に努めます。

5、財務の健全化

入所者様の重度化で入院者が増加しているが、リスク管理と健康面より稼働率の目標を上回る数値を目指します。

【数値指数】

		三楽園
利用者定員		50名
利用者目標		47.5名
稼働率		95%
総収入(千円)		126,131
職員数	正職員	14名
	パート	12名

施設名 : 松葉学園

【施設理念】

- ・共に考え共に生きる ―その人らしく、ありのままに―

【経営方針】

- ・地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、子どもから大人まで一人ひとりのニーズに対応し、総合的に障がい福祉サービスを展開する。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

○利用者一人ひとりの人権を尊重し、地域に開かれた施設づくりをめざす

- ・地域オンリーワンをめざしての提案をもとに、施設づくりを考える。
- ・実習生やボランティアを積極的に受け入れる。
- ・事業継続計画や防災関係マニュアルの見直しを行う。
- ・ホームページや広報誌等を通じて、情報を発信する。

2. 利用者家族の幸せ

○入所及び在宅利用者へのサービスの充実

- ・地域共生型交流拠点施設を開設し、地域の方に知ってもらえるよう運営する。
- ・グループホームの在り方、定員について検討する。
- ・生活介護活動場所の有効利用及び活動内容を検討する。
- ・快適な暮らしや日々の活動のための施設環境づくりを行う。
- ・利用者の高齢化対策を検討する。
- ・短期入所利用者の受け入れを行い、支援の充実を図る。

3. サービスの質の向上と標準化

○支援の質の向上:5つの実践力(受容・寄り添い・笑顔・意見・挑戦)を養う。

- ・OJTを中心とした人材育成に取り組む。
- ・必要な研修会や希望する研修会への参加を促進し、実践に取り入れる。
- ・業務改善活動を推進する。
- ・サービス提供手順書を見直す。

4. 職員の充実

○職員一人ひとりが自分の役割を自覚し、得意分野を施設の機能として生かせる職員体制づくり

- ・自信ややりがいとなるよう支援力を強化する。
- ・結果を出すのは自分達という誇りを持って取り組める職員を育成する。
- ・様々な働き方を認め合えるチームづくりを行う。
- ・資格取得を奨励する。

5. 財務の健全性

- ・適正な人員配置と加算の見直しや検討を行う。

【数値指数】

	松葉学園			夢の家	いと き館	ぽのぽの		
	施設入所	生活介護	短期入所			児童発 達	放課後等 デイ	保育所等 訪問
利用者定員	30名	47名	5名	41名	20名	20名		5名
1日平均利用者数	29名	45名	4名	38名	22名	2名	20名	0.5名
稼働率	96%	95%	80%	92%	110%	110%		10%
総収入(千円)	69,144	156,065	10,686	50,157	85,962	1,601	29,234	595
職員数正職員	29名			5名	6名	5名		
パート	25名			11名	15名	4名		

施設名 : 希望の森

【施設理念】

- ・一人ひとりの思いに寄り添い、自分らしい生き方を尊重します

【経営方針】

- ・利用者一人ひとりのニーズに柔軟に対応し、これまで培ってきた信頼と専門性を福祉サービスという社会資源として提供し、地域と共に生きる福祉の拠点となることを目標とします。

【事業計画】

1、地域オンリーワン

○利用者一人ひとりの豊かな生活と安心・安全な暮らしを支え地域に愛され親しまれる施設づくり

- ・利用者のプライバシーや人権を配慮した支援の実践
- ・地域交流行事による社会貢献活動の継続

利用者家族の幸せ

○入所及び在宅利用者へのサービスの充実

- ・利用者が安心、安全に過ごせるための施設環境づくり（設備整備含む）
- ・入所利用者の高齢化に伴う対策・検討
- ・生活介護、短期入所、日中一時等、利用者の受入体制・支援の充実
- ・地域リーダーとして専門性の高い相談支援
- ・迅速・丁寧な相談支援の対応
- ・法人後見制度への対応

2、サービスの質の向上と標準化

- ・OJTを中心とした人材育成
- ・研修会への参加

3、職員の充実

○自分の持っている力を発揮し、チームとして取り組む姿勢をもつ職員体制づくり

- ・自分の力を生かせる働きやすい職場環境づくり
- ・資格取得の奨励

4、財務の健全化

- ・適正な人員配置と加算の見直し・検討

【数値指数】

	希望の森			相談支援	
	施設入所	生活介護	短期入所	計画相談	各委託事業
利用者定員	40名	50名	5名	621件/年	—
1日平均利用者数	39名	47.5名	4.1名	—	—
稼働率	97%	95%	82%	—	—
総収入(千円)	92,667	159,620	10,391	8,277	7,182
職員数	正職員	26名		2名	
	パート	11名		2名	

施設名 : 児童養護施設ひまわりの家
児童心理治療施設ひまわりの家

【施設理念】

・**ひ**まわりのように明るく **ま**ごころと **わ**を大切にする **り**っぱな子どもを育てる

【経営方針】

○利用者の満足

家庭的な養育環境である小規模グループケアを推進し、よりきめ細やかな支援により、児童の最善の利益を優先した養育を行います。また、家庭再統合に向けて家庭支援専門相談員が中心となり、各機関と連携し、早期の家庭復帰に努めます。

○職員の満足

福祉活動の財産は人であるとの考えに基づき、養育・支援の質の向上に向け、施設内外の研修により、知識や援助技術の向上を図るとともに資格取得に努めます。

○経営の満足

時代や環境の変化に対応し、安定的・効率的な施設経営を目指します。

【事業計画】

*重点目標

1、地域オンリーワン

○子どもの人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。

○社会的養護の必要な児童への理解を深め、地域に開かれた施設にする

2、利用者家族の幸せ

○多様なネットワークを構築し、福祉ニーズやライフステージの変化に対応する。

○相談体制を整え、アドミッションケア、インケア、リービングケア、アフターケアの充実を図る。

3、サービスの質の向上と標準化

○専門的知識の習得や技術の向上のために、OJT委員を中心に研修を充実させる。

4、職員の充実

○働きやすく、働きがいのある職場づくりを行い、福祉人材の育成と確保に努める。

5、財務の健全性

○適正な人員配置やコスト削減に努め、利用者及び経営の満足度を高める。

【数値指数】

	児童養護	児童心理
利用者定員	20名	10名
一日平均利用者数	19名	6名
利用者目標	20名	8名
稼働率	100%	80%
総収入(千円)	127,211	51,040
職員数(正職員)	17名(兼務5名)	12名(兼務5名)
(パート)	1名(兼務1名)	3名(兼務1名)

施設名 : うわまち未来こども園

【施設理念】

一人ひとりが輝き、“生きる力”を培う

【経営方針】

うわまち未来こども園

1. 体験活動や交流を通して、子どもの主体性を育み、柔軟なところとからだを育てる。
2. 一人ひとりのこころにより添い、自己肯定感を育む。
3. 一人ひとりの特性や発達にそくした養護と教育を一体的におこなう。
4. 保育の質の向上や安心安全な保育環境を目指して資格取得や自己研鑽に努める。

なかよしクラブ

1. 児童一人ひとりを大切に、共働きや一人親家庭の児童にたいして、充実した生活が送れるように努める。
2. 子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

※重点目標

(1) 地域オンリーワン

- ・ホームページ等を利用して、保育の独自性や専門性の発信に努め、積極的に子育て支援に努める。
- ・防災、危機管理対応マニュアルの見直しを行い実効性のあるものとし、災害時、地域とつながるネットワークづくりに努める。

(2) 利用者家族の幸せ

- ・保護者のニーズを把握し、保護者との信頼関係を築き、安心・安全な環境の確立に努める。
- ・ヒヤリハットの意識向上を図る為に、様々な研修を実施し事故防止に関する意識改革を行なう。

(3) サービスの質の向上と標準化

- ・資格取得を支援し、専門性を高めるための研修への積極的な参加を促しスキルアップを図ることで、次世代への人材育成に努める。
- ・保育マニュアルの見直しや園内研修などを通して、保育の質の向上を図る。

(4) 職員の充実

- ・時間外勤務の適切な管理、休憩時間の確保等、やりがいをもって働き続けられる職場作りを目指す。
- ・職場内での報連相やコミュニケーションを円滑にし、共通意識を持てるようにする。

(5) 財務の健全化

- ・園児数の動向や収支状況を的確にとらえ、安心安定した経営・運営が行われるように努める。

【数値指標】

利用者数	定員	190	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 87%	児童数 (4/1現在)	6名	18名	21名	38名	28名	38名	152名
	特別 保育	年間利用 延人数	延長保育						2,011名
			病児保育(体調不良型)						350名
			一時預かり保育						420名
学童保育40名						11,725名			
職員数	正職員	22名							
	パート	25名							
総収入(千円)			147,740						

施設名 : 中川保育園

【施設理念】

一人ひとりの子どもの思いを受け止め、様々な体験や人とのかかわりの中で、生きる力を培う。

【経営方針】

中川保育園

1. 地域のニーズ把握に努め、保育の充実を図ることで、信頼される保育園を目指す。
2. 地域性を活かし、郷土文化の伝承やわらべうた、栽培や調理体験をもとにした食育等、様々な経験を通して心豊かな子どもの育成に努める。”
3. 園内外の研修への参加や資格取得等の自己研鑽に努め、保育の質や職員の資質向上を図る。

ななほし中川学童保育

1. 子ども一人一人を大切に、保護者・地域から信頼される運営に努める。
2. 子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

※重点目標

(1) 地域オンリーワン

- ・法人や中川保育園の基本理念を明示し、園児・保護者・地域との信頼関係を築くと共に、人権意識の高い人材の育成に努める。
- ・地域の子育て支援の窓口としての役割を果たし、様々な情報発信を行い、信頼され安心される保育園を目指す。
- ・防災、危機管理対応マニュアルの見直しを行い、災害時、地域とつながるネットワークづくりに努める。

(2) 利用者家族の幸せ

- ・行事ごとのアンケートを実施し、また保護者からの様々な声を活かし、保護者のニーズを把握して、保育サービスの維持・向上を目指す。
- ・様々なリスクマネジメントの研修を実施して、より安心・安全な保育環境作りに努める。

(3) サービスの質の向上と標準化

- ・個々のスキルアップを図るため、専門研修会などに参加し、保育の質の向上に努める。
- ・保育マニュアルの見直しや園内研修などを通して、サービスの標準化を図る。

(4) 職員の充実

- ・職員間の報連相やコミュニケーションを円滑にし、働きやすい職場環境作りに努めるとともに、OJT 委員を中心として職員の育成に努める。
- ・行事の見直しや簡素化を行い、時間外労働の削減や、有給休暇の取得率向上にむけて、体制を整える。

(5) 財務の健全化

- ・修繕や施設設備の確認を行い、適切で安全な保育環境を維持する。(遊具補修など)
- ・保護者からのニーズを把握して、事業内容の見直しや検討を行い、反映していく。

【数値指標】

利用者数	定員	50名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 118%	児童数 (4/1現在)	3名	8名	10名	15名	15名	8名	59名
	特別保育	年間利用延 人数	学童保育 42名						12,600名
職員数		正職員	12名						
		パート	16名						
総収入(千円)		79,390							

施設名 : 田之筋保育園

【施設理念】

- ・自然の中で、一人ひとりが輝き、生き抜く力の基礎を培う。

【経営方針】

- ・自然豊かな環境を生かした遊びや実体験を通じた保育の中で好奇心・探究心・思考力を育て、心身共にたくましい子どもに育つよう努める。
- ・園庭の全面芝生化の継続により、子ども達が安心して遊べる環境作りに努める。
- ・異年齢児やボランティア、地域の人との交流を通して自分らしさを表現することで「人と関わる力」の基礎を育てる。
- ・園内外の研修や資格取得等の自己研鑽に努め、職員のスキルアップと保育の質の向上を図る。

【事業計画】

※重点目標

1、地域オンリーワン

- ・園児や保護者との信頼関係を築き、安心・安全な環境の確立を図る。
- ・災害時に備え、事業継続計画や防災・危機管理マニュアルの見直しを行い、地域とつながり支え合うネットワーク作りを行う。

2、利用者家族の幸せ

- ・保護者や地域の声を聞きながら、保育サービスの維持・向上及び安心・安全な保育環境を図る。

3、サービスの質の向上と標準化

- ・専門研修会や全国規模の研修会に参加することで職員のスキルアップを図り、保育の質の向上に努める。
- ・保育マニュアルの見直しや園内研修等を通して、職員のスキルアップを図る。

4、職員の充実

- ・時間外労働の削減と有給休暇・休憩時間の確保等が出来る体制を整え、働きやすい職場作りに努める。
- ・話しやすい職場環境をつくり職員一人ひとりのメンタルヘルス対策に努める。

5、財務の健全化

- ・施設・設備整備計画を策定し、適切な園の環境を維持していく。
- ・施設の老朽化に伴い、早めに修繕等を検討し、計画的に施設管理を行ない、適切な園の環境の維持と経営の安定に努める。

【数値指数】

利用者数	定員	40名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 147%	児童数 (4/1 現在)	3名	8名	13名	9名	14名	12名	59名
職員数		正職員	10名						
		パート	4名						
総収入(千円)			85,200						

施設名 : 下宇和保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然体験や、さまざまな人とのかかわりを通して「生きる力」の基礎を培う。

【経営方針】

〈下宇和保育園〉

- ・地域に根ざした保育園として、保護者や未就学児親子の子育て支援を行い、専門機関としての保育サービスを目指す。
- ・老人クラブや地域のボランティア・小学生等多様な人との触合いを通して、人と関わる力を育てる。
- ・異年齢児とのかかわりを大切に、自然の中での遊びや法華津峠や高森山登山などの実体験を通じて、強い心・やさしい気持ち・元気な身体を育てる。

〈放課後児童クラブ…明下田クラブ〉

- ・共働きや一人親家族の児童に対して、放課後や長期休業・学校休業日に、安全で充実した生活を送ることができるように努める。
- ・子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

※重点目標

1、地域オンリーワン

- ・地元の地域開発協議会、社会福祉協議会、公民館活動との連携強化に努め、地域ニーズの把握に努め、行事に積極的に参加し、地域と共に歩む施設づくりを推進していく。
- ・災害時に備え、継続計画やマニュアルの見直しを行い、地域とのつながり支え合える体制を作る。

2、利用者家族の幸せ

- ・保護者からの意見やアンケートで得た評価内容を検討し、より質の高い保育を実施していく。
- ・保護者会との連携を密にし、施設と一体となって子どもたちの安心安全な保育環境を整えていく。

3、サービスの質の向上と標準化

- ・充実したHPの作成に努め、子どもたちの様子、施設の様々な情報を、保護者や地域に発信する。
- ・研修会に参加し、スキルアップを図り、実践に繋げる。

4、職員の充実

- ・職員が働きやすい職場となるよう、コミュニケーションを円滑にし、時間外労働の削減・有給休暇の取得がしやすい体制作りを図っていく。

5、財務の健全化

- ・地域の出生状況やニーズ・園の収支状況を把握し適切な保育環境を維持して安定した経営に努める。

【数値指数】

利用者数	定員	40名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 85%	児童数 (4/1現在)	2名	4名	2名	8名	9名	9名	34名
	特別保育	年間利用	放課後児童クラブ(明下田クラブ)						9,400名
職員数	正職員	7名							
	パート	3名							
総収入(千円)		44,346							

施設名 : 明間保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然と地域の人たちとの関わりの中で、様々な体験を通し「生きる力」を育む。

【経営方針】

- ・地域に根差した保育園として子育て支援を行い、安心安全な環境を整え保育サービスを提供する。
- ・地域の人や小学生等多様な人との触れ合いを通して「人と関わる力」を育てる。
- ・異年齢児とのかかわりを大切にし、山の広場や自然の中での遊びなどの実体験を通じて、豊かな感性を養い心身ともにたくましい子どもに育つように努める。

【事業計画】

※重点目標

1、地域オンリーワン

- ・地域ニーズの把握に努め、行事に積極的に参加し、地域と共に歩む施設づくりを推進していく。
- ・災害時に備え、継続計画やマニュアルの見直しを行い、地域とのつながり支え合える体制を作る。

2、利用者家族の幸せ

- ・保護者からの意見やアンケートで得た評価内容を検討し、より質の高い保育を実施していく。
- ・保護者会との連携を密にし、施設と一体となって子どもたちの安心安全な保育環境を整えていく。

3、サービスの質の向上と標準化

- ・充実したHPの作成に努め、子どもたちの様子、施設の様々な情報を、保護者や地域に発信する。
- ・研修会に参加し、スキルアップを図り、実践に繋げる。

4、職員の充実

- ・職員が働きやすい職場となるよう、コミュニケーションを円滑にし、時間外労働の削減・有給休暇の取得がしやすい体制作りを図っていく。

5、財務の健全化

- ・地域の出生状況やニーズ・園の収支状況を把握し適切な保育環境を維持して安定した経営に努める。

【数値指数】

利用者数	定員	40名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 60%	児童数 (4/1現在)	0名	3名	3名	4名	1名	1名	12名
職員数		正職員	5名						
		パート	2名						
総収入(千円)			23,140						

施設名 : 宇和保育園

【施設理念】

- ・乳幼児の最善の利益を考慮する。
- ・生活の場としてふさわしい安心・安全な保育環境を増進する。
- ・家庭や地域社会と連携を図り、地域の子育て支援の拠点としての機能を果たす。

【経営方針】

宇和保育園

- ・子どもの状況や発達過程を踏まえて、心身共に健全に育つよう環境の中で養護及び教育を一体的に行い「生きる力」の基礎を培う。
- ・地域の人との交流を通して人のかかわりや様々な実体験により、豊かな心と逞しい身体を育成する。
- ・職員は県内外の専門研修を受講し知識・技能を高め、保育の質の維持向上に努める。

一時保育

- ・一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮して柔軟な保育をする。

地域子育てセンター

- ・地域の子育て家庭の育児不安を和らげ、安心して気持ちよく利用できる環境づくりをする。

【事業計画】

※重点目標

1. 地域オンリーワン

- ・法人の基本理念、園の保育理念のもと安心、安全な保育環境を整備し、園児や保護者、地域との信頼関係と連携を深めていく。
- ・ホームページ等を利用し、情報発信を定期的におこない保護者・地域の方々の園への理解度を高めていく。
- ・災害に備え、防災・危機管理マニュアルの見直しを行い、地域とつながるネットワーク作りに努める。

2. 利用者と家族の幸せ

- ・ヒヤリハット（気づき）の意識向上と全体への周知を心がけ、安心・安全な環境を整えていく。
- ・地域における子育て支援の窓口として、利用者のニーズ把握に努め、関係機関と連携をとりながら地域に密着したサービスの提供と、利用者満足度向上を図る。

3. サービスの質の向上と標準化

- ・質の高いサービスを提供できるように、職員会議等を利用し、マニュアルの読み合わせや、見直しをおこないサービスの標準化を図る。
- ・園内研修、専門研修会等への参加を促進し、個別のスキルアップを図り、全体的な底上げへとつなげる。

4. 職員の充実

- ・時間外労働の削減と有給休暇の取得が更に向上するよう工夫をし、魅力ある職場環境づくりを行う。
- ・話しやすい職場環境をつくり、メンタルヘルス対策に努める。

5. 財務の健全化

- ・地域の出生状況や、保護者、地域のニーズを把握し安定した経営に努める。
- ・施設の老朽化にともない、早めに修繕等を検討し計画的に施設管理を行い、安全な環境維持と経営の安定に努める。

【施設整備】・テラス屋根増築 ・幼児用トイレ改修

【数値指数】

利用者数	定員	120名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	
	園児入所率 92,5%	児童数 (4/1現在)	3名	21名	24名	23名	21名	19名	111名	
		年間利用 延人数	夜間延長保育							3,000名
			一時預かり保育							400名
			子育て支援センター							5,000名
学童保育							650名			
職員数	正職員	17名								
	パート	15名								
総収入(千円)		119,350								

施設名 : 石城保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然と地域の人とのかかわりの中で、一人ひとりが輝き『生きる力』を育む。

【経営方針】

- ・様々な体験や地域の人たちとのかかわりの中で、豊かな心や逞しい体を育む。
- ・一人ひとりの発達と年齢に応じた保育を行い、主体的・自主的に遊ぶことを大切にする。
- ・子どもの肯定感を育み、自分も友だちも大好きな子どもを育成する。
- ・地域の状況や保護者のニーズを把握し、経営・運営に反映するように努める。
- ・地域の中の施設として、地域との交流や連携を継続していく。
- ・職員のスキルアップと職員相互の連携により、保育の質の維持・向上を図る。

【事業計画】

※重点目標

1、地域オンリーワン

- ・子ども一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSを理解し、施設運営に反映させる。
- ・災害時の事業継続計画（BCP）及び、防災、危機管理マニュアルの定期的な見直しを行い、実効性のあるものにするとともに、緊急時への備えを定期的に職員間で周知する。
- ・地域の関係機関、団体との連携強化に努め、地域に根ざした保育園を目指す。

2、利用者家族の幸せ

- ・園児、保護者との信頼関係を深め、移管後の運営に安心感をもっていただけるよう努める。
- ・自己評価と保護者のアンケートで自園の評価につなげ、保育のさらなる向上を図る。

3、サービスの質の向上と標準化

- ・専門分野における知識・技術を高め、より質の高い保育及びサービスの提供に努める。
- ・全職員が共通意識をもち、質の高いサービス提供ができるよう、保育の質の向上に努める。

4、職員の充実

- ・人事制度と評価制度の理解や定着を図り、職員の働きがいや喜びにつなげる。
- ・時間外労働の削減と有給休暇の取得率の向上ができる体制を構築する。

5、財務の健全化

- ・園児数の動向や収支状況を把握し、適切な保育環境を維持しながら、安定した経営に努める。
- ・施設をとりまく環境を把握し、設備整備計画を策定し、実行する。

【数値指標】

利用者数	定員	50名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 88%	児童数 (4/1現在)	0名	7名	7名	7名	13名	10名	44名
職員数	正職員	8名							
	パート	2名							
総収入（千円）			52,770						

施設名 : 多田保育園

【施設理念】

- ・様々な体験や友だち、地域の人々との関わりの中で「生きる力」の基礎を培う。

【経営方針】

- ・地域の豊かな自然を活かし、様々な体験を通して心身ともにたくましい子どもを育成する。
- ・一人ひとりの子どもの個性や発達に応じた保育を行うとともに自己肯定感を育む。
- ・子どもの「気づき」や「しよう」とする気持ちを大切に、自ら考え行動する力を培う。
- ・地域の社会資源の一つとして、様々な交流を継続し、情報発信を行い、地域ニーズを的確にとらえ保育に反映させる。
- ・職員のスキルアップと職員相互の連携により、保育の質の維持・向上を図る。

【事業計画】

※重点目標

1、地域オンリーワン

- ・園の保育理念のもと、園児や保護者との信頼関係を築き、園児が安心・安全でのびのびと生活できる環境の確立に努める。
- ・地域との交流活動の継続や園からの情報発信を積極的に行い連携の強化することにより、地域の中での福祉サービスの機能を果たしていく。
- ・災害時に備え、地域ぐるみで地域性のある災害マニュアルを検討し、相互に支え合いながら安心・安全な地域環境、保育環境を確立する。

2、利用者家族の幸せ

- ・保護者アンケートを活かし、保育サービスの維持・向上を心がけ、安心・安全な環境を整え、日々の保育に反映させる。
- ・毎月15日を「安全を考える日」として、園のリスクの見直しや、環境を整え保育を提供していく。

3、サービスの質の向上と標準化

- ・規模の大きな研修や専門研修に参加することにより、個々の専門知識や技術を高め、スキルアップを図り保育に活かしていく。
- ・定期的に保育課程やマニュアルの見直しを行い、職員の周知を図り質の高い保育及びサービスを提供する。

4、職員の充実

- ・休憩時間や有給休暇の取得ができる体制を構築する。
- ・職員間での協力、業務内容の見直し等を行い時間外労働の削減を目指す。
- ・OJTを中心に人材育成に努め、相談しやすく働きやすい職場環境を作り、個々のメンタルヘルス対策を図る。

5、財務の健全化

- ・園児数の動向や、収支状況を把握し、優先順位を決めて施設設計画を策定し的確な保育環境を維持しながら、安定した経営に努める。
- ・地域の出生状況や、保護者・地域のニーズを把握し事業内容に反映させ、安定した経営に努める。

【数値指数】

利用者数	定員	20名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 115%	児童数 (4/1 現在)	0名	3名	3名	2名	7名	8名	23名
職員数		正職数	6名						
		パート	1名						
総収入(千円)			41,910						

施設名 : 高山保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然と地域の人とのかかわりの中で、一人ひとりが輝き『生きる力』を育む。

【経営方針】

- ・地域の豊かな自然を活かし、様々な体験や地域の人たちとのかかわりの中で、豊かな心や逞しい体を育む。
- ・一人ひとりの個性や発達に応じた保育を行なうとともに自己肯定感を育む。
- ・地域の状況や保護者のニーズを把握し、経営・運営に反映するように努める。
- ・地域の社会資源の一つとして様々な、地域との交流や連携を継続していく。
- ・職員のスキルアップと職員相互の連携により、保育の質の維持・向上を図る。

【事業計画】

※重点目標

1、地域オンリーワン

- ・子ども一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSを理解し、施設運営に反映させる。
- ・災害時の事業継続計画（BCP）及び、防災、危機管理マニュアルの見直しを行い、実効性のあるものにする
とともに、緊急時への備えを定期的に職員間で周知する。
- ・地域の関係機関、団体との連携強化に努め、地域に根ざした保育園を目指す。

2、利用者家族の幸せ

- ・園児、保護者との信頼関係を深め、移管1年目の運営に安心感をもっていただけるよう努める。
- ・自己評価と保護者のアンケートで自園の評価につなげ、保育のさらなる向上を図る。

3、サービスの質の向上と標準化

- ・専門分野における知識・技術を高め、より質の高い保育及びサービスの提供に努める。
- ・全職員が同じ方向に向かってサービス提供ができるよう、保育の質の向上に努める。

4、職員の充実

- ・人事制度と評価制度の理解や定着を図り、職員の働きがいや喜びにつなげる。
- ・時間外労働の削減と休憩時間や有給休暇の取得ができる体制づくりの構築をする。

5、財務の健全化

- ・園児数の動向や収支状況を把握し、適切な保育環境を維持しながら、安定した経営に努める。
- ・施設をとりまく環境を把握し新園舎建設に取り組む。

【数値指標】

利用者数	定員	20名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 90%	児童数 (4/1現在)	0名	2名	3名	5名	4名	4名	18名
職員数		正職員	4名						
		パート	4名						
総収入(千円)			33,430						